



2024年11月7日

各 位

会 社 名 日産車体株式会社  
代表者名 取締役社長 富山 隆  
(コード番号 7222)  
問合せ先責任者 法務・広報部部长 齊藤 義雄  
(TEL. 0463-21-8001)  
当社の親会社 日産自動車株式会社  
(コード番号 7201)

## 2025年3月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2024年5月9日公表の業績予想における2025年3月期(2024年4月1日~2025年3月31日)の通期連結業績予想について、以下のとおりお知らせいたします。

記

通期連結業績予想について

2025年3月期 通期連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	百万円 328,700	百万円 8,700	百万円 9,000	百万円 5,400	円 銭 39.87
今 回 発 表 予 想 (B)	351,300	4,400	4,900	2,400	17.72
増 減 額 (B-A)	22,600	△4,300	△4,100	△3,000	—
増 減 率 (%)	6.9%	△49.4%	△45.6%	△55.6%	—
(ご参考) 前 期 実 績 (2024年3月期)	301,071	979	1,392	407	3.01

(業績予想の修正の理由)

当社グループの主たる事業セグメントである自動車関連事業において、前回予想に対して売上高は、新型車の売上価格が前回予想策定時点よりも高額になったため増加する見込みであります。営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、最先端の性能を有する「新型インフィニティQX80」や「新型パトロール」の連続した立ち上げに対し、上期は生産効率が十分に上がらないことにより売上台数が需要に追いつかず、またその対応で人員や生産時間を増やすなど、前回予想以上に生産コストを要しました。下期は需要に対応するため生産効率を改善して売上台数を増加させることで、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は上期に対して大幅に改善するものの、通期としては前回予想を下回る見込みであります。

(注) 上記の業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上